

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援開所して3年経過。年々、入居者の重度化が進む状況があり、終末期に向けた方針を今年度策定。また、入居者・家族へ現段階での希望を再確認した所、9割近い入居者が当事業所での最終住まいを希望された。しかし、医療との連携、職員への研修など現段階では看取りができる環境に至っていない。	『安心して最後まで穏やかに生活できるホームを作ろう』 ～どのような状態変化があっても対応出来る施設を目指す	1.看取りや重度化に伴う必要な内容を踏まえた研修計画を作成し定期的実施。 (理解を深める・知識や技術向上・エンゼルケア等) 2.協力医療機関へ外部評価結果、入居者看取りアンケート統計結果を報告し今後の協力要請を改めて行う 3.訪問看護ステーションとの連携 (関係を構築していく)	6ヶ月
2	35	○災害対策 毎月、防災訓練を実施。しかし、夜間帯においては実際、一人で避難誘導が可能なのか？地域、近隣への協力の働きかけが必要。また、備蓄に置いても1食分の準備で大丈夫だろうか？	『近隣の住民と一緒に防災訓練に取り組もう』	1.運営推進会議の議題で検討 (地域の中心となる民生委員から協力要請を一緒に行って頂く) 2.地域での防災訓練状況を確認し参加要請を行う 3.備蓄1食分→9食分準備	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。